

わくわくするロータリー活動を



先着200名無料の豚汁は好評の内に配布完了 →

← 降り続く雪の中、大道芸人のパフォーマンス観賞や雪上アトラクション等で、子ども達のテンションもMAX



『こどもふれあい雪あそびフェスティバル』開催

「クラブ活動の活性化のため、全員参加で新しいことに挑戦しよう」との米澤会長のスローガンのもと、2月12日（月・祝）、元スキー場であった原山市民公園にて『こどもふれあい雪あそびフェスティバル』を開催。「飛騨の子どもたちでも、実は屋外で雪に親しむ機会が少ない」という声を受け、高山市社会福祉協議会と共催したこのフェスティバル。当日は朝からの大雪にもかかわらず、幼児・小学生の親子約400人が集まる盛況となり、新規事業の実施に不安を抱えていた会員達に達成感をもたらす機会となった。



交換学生の受入と派遣

クラブとして5年ぶりに交換学生を受け入れ、また実に19年ぶりの学生派遣を行った。

スイスからの受入学生、ノエミ・ベアトリス・シエンクさんは、市の版画年賀状コンクールで入賞するなど日本文化にも親しみ、漢字の読み書き含め日本語もメキメキ上達。

またオーストラリアへ派遣された萱垣杏花さんは、受入先のロータリークラブが解散するというアクシデントに見舞われながらも、その前向きな姿勢で新たなクラブに歓迎され、無事1年間を修了。

会員全員で2人の成長を実感した、実りある事業となった。

